

サム・フランシス

20 世紀のアメリカの画家。モダンテクニックなどの手法を使った抽象表現主義の色彩画家として知られている。第二次世界大戦中に飛行訓練の事故で入院していたときに絵を描き始める。1957 年、世界旅行中に来日し、日本美術に見られる余白を生かした構成やにじみの効果を生かした表現など、日本美術の影響を受けた。以後、ニューヨークやパリのほか、東京にもアトリエを構えて活動し、墨のにじみやかすれなどを生かした表現も試みている。また、日本では小説家の大江健三郎や詩人の大岡信、華道家の勅使川原蒼風など、多くの文化人と交流している。